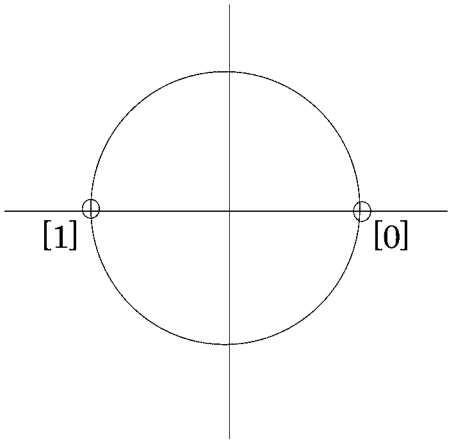
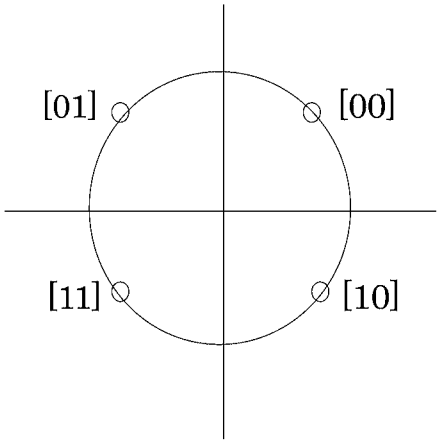
別表第四十六号　搬送波の絶対位相偏位（第52条第４項関係）

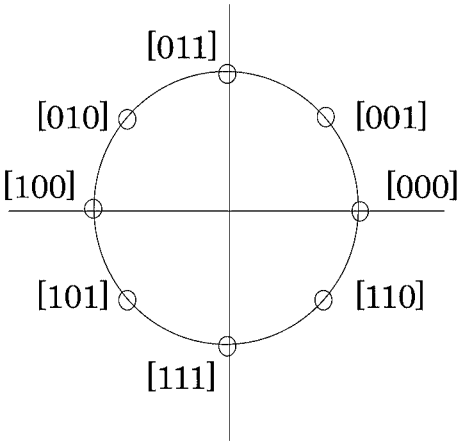
変調方式	シンボル割付け	絶対位相偏位
二相位相変調	0	0度
	1	（＋）180度
四相位相変調	0，0	（＋）45度
	0，1	（－）45度
	1，0	（＋）135度
	1，1	（－）135度
八相位相変調	0，0，0	0度
	0，0，1	（＋）45度
	0，1，1	（＋）90度
	0，1，0	（＋）135度
	1，0，0	（＋）180度
	1，0，1	（－）135度
	1，1，1	（－）90度
	1，1，0	（－）45度



二相位相変調：［Ｃ０／Ｃ１］



四相位相変調：［Ｐ１Ｐ０］



八相位相変調：［Ｃ２Ｃ１Ｃ０］

ただし、Ｃ０、Ｃ１、Ｃ２、Ｐ１及びＰ０は、誤り訂正内符号化後の「０」又は「１」の値とし、別表第四十九号３によるものとする。

別表第四十七号　11.7GHzを超え12.2GHz以下の周波数の電波を使用する衛星基幹放送局を用いて行うデジタル放送及び広帯域伝送デジタル放送のろ波器の周波数特性（第52条第５項関係）

$$\begin{cases} 1 & |F| \leq F_n \times (1-\alpha) \\ \sqrt{\dfrac{1}{2}+\dfrac{1}{2}\sin\dfrac{\pi}{2F_n}\left[\dfrac{F_n-|F|}{\alpha}\right]} & F_n(1-\alpha) \leq |F| \leq F_n(1+\alpha) \\ 0 & |F| \geq F_n(1+\alpha) \end{cases}$$

注　Ｆは周波数、F_nはナイキスト周波数、αはロールオフ率を表し、次の値とする。

F_n＝14.430（MHz）

α＝0.35